

鉄道ピクトリアル

2019年11月号 Vol.69 No.11 通巻No.966

〈特集〉中央線130年

■表紙 中央線130周年記念ラッピングのE233系……石田敦巳

立川 2019-4-27

■グラフィック

130年の轍 (1～8ページ)

河原慶明・池添智和・佐藤利生・大高正昭・太田正行
……久野英策・小林 武・梶田俊幸・進藤 匡・白井 剛
関 周一・竹内宗隆・編集部

*

1950～60年代中央線(東京—高尾)各地の思い出アルバム

……伊藤 昭・伊藤威信… 41

中央線ウォッチング 東京—高尾間に見る配線・施設の興味や歴史的遺構

……写真：手塚正雄・池添智和ほか… 46

昔日の国分寺界限 ……写真：長谷川優一・三田研慈ほか… 60

中央線の運転士用携帯時刻票コレクション

……所蔵・解説：小樽宏明… 62

*

Pictorial Color Gallery ふたつの「学園前駅」のあいだ……飯塚 卓治… 97

中央線(東京—高尾)における運転の興味 ……構成・解説：編集部…100

〔東急3020系／相模鉄道12000系がJR新宿駅に初入線／
東京地下鉄が日比谷線の新駅「虎ノ門ヒルズ」建設現場
を公開ほか〕 102～104
114・115

各地の話題から ……写真：白川 淳…105

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西) ……106

一畑電車松江水郷祭における車両運用 ……菊池 崇之…116

関東の話題 ……関 周一…117

伊豆箱根鉄道駿豆線 ヘッドマーク&ラッピング車2019 夏

……諸野協晴宏…118

連載・昭和の鉄景(第35回) ……椎橋 俊之…120

■本文

今月の話題：中央線130年……編集部… 9

中央線のダイヤグラムの変遷—稠密運転線区の歴史回顧—(前編)

……佐藤 信之… 10

中央線「国電区間」の線路配線今昔 ……祖田 圭介… 28

「きっぷ」が証す中央線—二つあった「富士見駅」……長谷川優一… 66

中央線電車区勤務時代を振り返って ……小樽 宏明… 68

中央線(快速)201系のあゆみ、そしてE233系へ ……石田 敦巳… 79

E233系0番代 13年間の動向と改造の概要

……本文・図表：石田敦巳，協力：森井幹也… 89

*

鉄道の話 ……編集部… 65

書評(656)『近代日本鉄道会計史—国鉄中心として』

……三木 理史…121

JR西日本271系 ……田邊尚紀・若杉景祐・津田康宏…122

国鉄末期の中央本線(電車区間)を運転面で振り返る

……日向 旭…130

8月のメモ帳 ……135

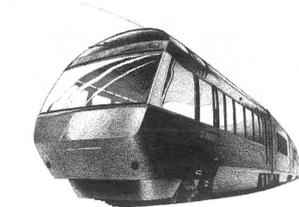
読者短信・情報ファイル ……136

後部車から ……140

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット：山本茂樹

中央線130年

東京—塩尻一名古屋を結ぶ中央線は、現在は塩尻を境界に東方がJR東日本、西方がJR東海の事業区間となっており、列車運転系統は古くから塩尻から松本、長野方面へ直通が基本で、かつては中央東線、中央西線とも称されていた。この中央線が今年130年を迎えたということで、歴史上の話題を中心に本特集を企画した。130年の始まりは甲武鉄道が新宿—立川—八王子間で1889(明治22)年に初めて開業した時点であり、本特集も今回はいわゆる中央線の東京口、電車区間を主体とした内容であるのでご了承いただきたい。

甲武鉄道はその後、1895(明治28)年までに牛込から飯田町まで開業、1904(明治37)年には電車運転を開始するが、これが今日のJR電車へと続く国電の始祖となっている。1906(明治39)年鉄道国有化によって中央東線に編入され、さらに万世橋、東京へと延長、1930(昭和5)年までに浅川(現高尾)へと電化が実現して電車運転を延長、以来都心と東京都西部を結ぶ通勤輸送を担う国電区間となって今日に至る発展への歩みが続けてきた。

さて、130年を迎えた中央線では、今年JR東日本八王子支社により沿線で多彩な記念行事が開催されたが、鉄道趣味から見た中央線の電車区間は昔も今も施設、車両、運転などさまざまな面で話題が豊富で常に魅力的な路線である。昭和初期には御茶ノ水—中野間が複々線となり急行(快速)運転を開始、国鉄初の新性能車101系が初投入されたのは中央線であり、省エネ電車を謳った201系もデビューは中央線だった。近年ではグリーン車連結計画、E233系へのトイレ設置など、かつての国電区間にはない目新しい施策が進められるとともに、御茶ノ水、飯田橋など駅の改良も盛んであり、将来に向けてますます目が離せない楽しみな路線となっている。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Mehrlight Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan